

# 令和3年度札幌市アイヌ施策年次報告書

札幌市

## 令和3年度札幌市アイヌ施策の実施状況

札幌市においては、令和3年3月に策定した「第2次札幌市アイヌ施策推進計画」に基づき、基本理念である「アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現」を図るため、以下の施策目標を定め、アイヌ施策推進法の基本理念などを踏まえながら、関係機関等と連携を図り、各種のアイヌ施策を実施している。

令和3年度は、第2次札幌市アイヌ施策推進計画の計画期間の初年度として各種事業に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部事業の中止やアイヌ文化交流センター来館者数の減少など、多くの事業が影響を受けることとなった。

### 施策目標1：アイヌ文化の保存・継承・振興

#### 推進施策1：アイヌ文化の継承と人材育成

##### 1 アイヌ文化体験講座（文化継承関係）の意向調査

アイヌ文化を継承していくための仕組みづくりについて検討を行うため、札幌アイヌ協会及び札幌大学ウレシパクラブの協力により、アンケート調査を行った。

##### 2 アイヌ文化振興・保存・伝承活動への補助

アイヌ民族の若い世代の交流促進やアイヌの子弟に対する学習支援、アイヌ文化に関する啓発活動などといった札幌アイヌ協会が実施する事業に対して補助を行った。

##### 3 インカルシペ・アイヌ民族文化祭への支援

例年、札幌アイヌ協会が開催するペウレアイヌの集い、ムックリ・トンコリ大会、アイヌミュージックコンサート、アイヌ民族の生活文化や歴史等に関するパネル展示に対し補助を行っているが、令和3年度については、前年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、標記文化祭が中止となった。

## 推進施策 2 : アイヌ民族の伝統的な生活空間（イオル）の再生

### 1 イオル再生事業の実施

アイヌ民族の伝統的な生活空間（イオル）の再生事業として、伝承活動に必要なとなる植物や穀物などの自然素材の育成及び伝統文化の体験イベントを実施した。

#### (1) 自然素材の育成

清田区内の市有地において自然素材の栽培及び育成管理を行った。

#### (2) 体験講座の開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度は一部講座を中止した。

ア 民具づくり（アット°シを用いたポシェット制作）：1回実施（参加者：15人）

イ 伝統料理調理：3回実施（参加者：37人）

ウ 子ども遊び（弓矢作り）：中止

### 2 林産物の資源調査の実施

国有林野においてアイヌ文化の振興等に利用する林産物を採取するため、林産物の分布状況等に関する調査を実施した。

## 施策目標 2 : アイヌ民族に関する理解の促進

### 推進施策 1 : アイヌ民族に関する啓発活動の推進

#### 1 アイヌ文化体験講座（市民向け）の実施

刺しゅう、木彫り等の体験講座を実施した。

開催場所：アイヌ文化交流センター、区民センター（北）、かでの2・7、北海道大学構内

年度	開催回数	参加者
H29	18回	228人
H30	16回	216人
R1	15回	180人
R2	19回	242人
R3	6回	68人



## 2 大型イベントと連携した情報発信

- (1) さっぽろ大通ビアガーデンにおける情報発信
- (2) オータムフェストにおける情報発信
- (3) さっぽろ雪まつりにおける情報発信

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、「さっぽろ大通ビアガーデン」については中止、「オータムフェスト」、「さっぽろ雪まつり」についてはオンライン開催となったため、実施することができなかった。



## 3 アイヌアートモニュメントの制作・展示

アイヌ民族の文化に対する市民理解の促進を目的として、アイヌ文様タペストリーをJRタワー1階西コンコース、札幌駅前通地下歩行空間、札幌市役所本庁舎1階ロビー等に設置している。

令和3年度においては、公募した市民がアイヌ民族の指導のもとタペストリー4点を共同制作し、札幌駅前通地下歩行空間の地下鉄南北線さっぽろ駅側の柱に展示した。



## 4 「イランカラプテ」キャンペーンの推進

公共空間等を活用して、国や北海道と連携して取り組む「イランカラプテ」キャンペーンを継続して展開した。

キャンペーンの一環として、市役所本庁舎1階ロビーのタペストリー展示什器に、キャンペーンの大型フィルムシートを継続して設置した。

## 5 アイヌ文化を発信する空間の管理運営

平成31年3月に供用を開始した「アイヌ文化を発信する空間（ミナパ）」を活用し、アイヌ文化への理解を深めるきっかけづくりや、道内のアイヌ関連施設の情報発信を行った。



## 6 札幌市アイヌ文化PRコーナーの開設

令和3年11月にサッポロファクトリー3条館1階に札幌市アイヌ文化PRコーナーを開設し、パネル「札幌の地名とアイヌ民族」や民族衣装等を展示している。

また、ディスプレイを設置し、アイヌ文化交流センターのPR映像を放映している。



## 7 埋蔵文化財センターにおける展示（市民文化局 文化部）

埋蔵文化財センターにおいて、アイヌ文化期の鉄鍋などの出土資料を展示している。



## 8 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク（環境局環境都市推進部）

アイヌ文化交流センターを「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」の活動拠点の一つとして位置付け、「オンラインクイズラリー」を実施し、アイヌ民族の伝統文化や自然観の普及啓発を行った。

### ※ 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク

平成25年3月に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、市内にある既存の環境関連施設を生物多様性に関する活動拠点として位置付け、ネットワーク化を図るもので、活動拠点間の情報の共有や連携・協働を進めることにより、生物多様性保全の取組を効果的に進めることを目的としている。

## アイヌ文化体験講座

回	講座名		実施	受講人数	会場
1	アイヌ文様刺しゅう	アイヌ文様入りマスク	10/24	11	アイヌ文化交流センター
2		チヂリのタペストリー	11/20	15	アイヌ文化交流センター
3		ルウンペのタペストリー	12/19	7	北区民センター
<b>【刺しゅう 計】</b>				<b>33</b>	
4	木彫り	ペーパーナイフ	12/4	10	アイヌ文化交流センター
<b>【木彫り 計】</b>				<b>10</b>	
5	編み物	サラニブ風小物入れ	7/24	12	アイヌ文化交流センター
<b>【編み物 計】</b>				<b>12</b>	
6	講義	エコツアーアイヌ文化の遺跡巡り in 北大	10/2	13	北海道大学構内及び周辺
<b>【講義 計】</b>				<b>13</b>	
				<b>68</b>	

## 推進施策 2 : アイヌ民族の歴史の尊重と教育施策の充実

### 1 小中高校生団体体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターにおいて、小中高校生に伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験、展示解説等を実施した。令和2年度から、送迎バスを無料で運行。

年度	参加校数	参加者
H29	57校	4,013人
H30	48校	3,258人
R1	55校	3,715人
R2	53校	3,989人
R3	58校	4,204人



### 2 小中高校生団体出前体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターに来館しての体験プログラムの実施が困難な学校に向いて、伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験等を実施した。

年度	参加校数	参加者
H29	24校	2,185人
H30	28校	2,298人
R1	35校	2,520人
R2	59校	4,376人
R3	65校	4,835人

### 3 民族教育の充実（ムックリ体験等）

アイヌ民族の歴史・文化等への興味・関心を高めるために、伝統楽器「ムックリ（口琴）」の体験機会を提供した。

実績：125校にムックリ9,122個を配布

### 4 新任課長職への研修の実施

新任課長を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化や国の動向等について研修を実施予定であったが、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症による影響で中止した。【市職員研修】

## 5 新採用職員への研修の実施（総務局自治研修センター）

新採用職員を対象として、アイヌ民族の歴史やアイヌ民族を取り巻く人権に関する研修を、事前に収録した講義動画を各研修会場で視聴する「動画研修型」にて実施した。【市職員研修】

開催日：令和3年4月6日（火）～7日（水）、4月20日（火）、  
10月8日（金）、10月14日（木）

開催場所：自治研修センター及び北海道自治労会館 参加者：418人

## 6 市民文化局特別研修

市民文化局の役職者を対象として、アイヌ民族の歴史や事業における留意事項等に関する研修を実施した。【市職員研修】

開催日：令和3年12月14日（火）～15日（水）

開催場所：札幌市役所 参加者：82人

## 7 eラーニング教材の公開

アイヌ民族に対する配慮をより適切に行っていくため、職員を対象とするeラーニング教材を令和3年度に新たに公開した。【市職員研修】

## 8 民族教育に関する研修会（教育委員会学校教育部）

学校におけるアイヌ民族に関する教育及び人権教育の充実を図ることを目的として、学校におけるアイヌ民族の歴史・文化等に関する指導事例の交流や、アイヌ民族に関する教育のあり方についての意見交流を行う予定であったが、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症による影響で中止した。【市職員（教職員向け）研修】

## 9 教育センター専門研修（教育委員会学校教育部）

本市に採用された初任教職員等を主な対象として、アイヌ民族の文化や民族教育に関わる研修を実施した。【市職員（教職員向け）研修】

第1回開催日：令和3年7月27日（火）

開催場所：ウポポイ（民族共生象徴空間） 参加者：31名

第2回開催日：令和4年1月12日（水）

開催場所：教育委員会会議室 参加者：32名

## 10 人権教育推進事業（教育委員会学校教育部）

「札幌市学校教育の重点」に位置付けている「人権尊重の教育」について、人間尊重の教育に向けた3つの視点（「教師自らの人間尊重の意識の向上」、「校種間の連携による連続性のある人間尊重の教育に向けた取組の推進」、「子ども自身が自分を振り返り、人間尊重の意識の高まりに気付く手立ての構築」）に基づいた推進と充実を図った。【市職員（教職員向け）研修】

### (1) 研究推進校における実践研究の実施

#### ア 学校におけるアイヌ文化体験学習

（ア）小学校2校において体験的な学習の実践研究を実施

（イ）研究推進校における実践資料を市内の学校に提供

#### イ ウポポイにおける教員研修を実施

## 11 さっぽろ市民カレッジ 学社融合講座（教育委員会生涯学習部）

市立札幌大通高校で開講している、さっぽろ市民カレッジ学社融合講座において「まちなかで触れるアイヌ文化」を実施した。受講する市民と履修登録した同校の生徒に、アイヌ民族の歴史や文化（衣服・文化・言語・世界観）についての解説を行った。【市民向け研修】

参加者：一般受講生4人、高校生6人（全6回開催）

## 12 図書展示「アイヌ文化のこと、もっと知ってみませんか」（教育委員会中央図書館）

元町図書館において、北海道博物館の企画展示「アイヌのくらしー時代・地域・さまざまな姿」（令和3年10月16日（土）～12月12日（日））の開催に合わせ、アイヌ文化に関連する書籍の展示を行い、関連書籍の貸出しの促進と、来館者へアイヌ文化への興味関心を持ってもらうきっかけづくりを行った。

実施期間：令和3年11月19日（金）～12月16日（木）

実施場所：元町図書館1階図書室内

小中高校生団体体験プログラム（小学校 123 校の区ごとの内訳）

【体験プログラム+出前体験プログラム】

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	養護	計
全学校数	16	30	28	20	13	22	15	19	20	16	3	202
参加校数	10	15	14	10	9	16	10	16	13	10	0	123
参加割合	63%	50%	50%	50%	69%	73%	67%	84%	65%	63%	0%	61%

※ 新型コロナウイルス感染予防のため 15 校がキャンセル。

【体験プログラム】

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	養護	計
全学校数	16	30	28	20	13	22	15	19	20	16	3	202
参加校数	3	4	5	2	4	14	2	13	6	5	0	58
参加割合	19%	13%	18%	10%	31%	64%	13%	68%	30%	31%	0%	29%

※ 新型コロナウイルス感染予防のため 7 校がキャンセル、7 校が出前体験プログラムに切替。

【出前体験プログラム】

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	養護	計
全学校数	16	30	28	20	13	22	15	19	20	16	3	202
参加校数	7	11	9	8	5	2	8	3	7	5	0	65
参加割合	44%	37%	32%	40%	38%	9%	53%	16%	35%	31%	0%	33%

※ 新型コロナウイルス感染予防のため 8 校がキャンセル、7 校が体験プログラムから切替。

小中高校生団体体験プログラムの変遷

平成 17 年度 小中高校生団体体験プログラム開始

平成 28 年度 小中高校生団体体験プログラムのバス費用一部負担開始

小中高校生団体出前体験プログラム開始

令和 2 年度 小中高校生団体体験プログラムの無料送迎バス開始

ムックリ無料配布開始

## 施策目標 3 : 体験・交流の促進

### 推進施策 1 : 札幌市アイヌ文化交流センターの魅力創出

#### 1 アイヌ文化交流センターの運営

アイヌ文化の保存・継承・振興や、市民理解の促進を図るため、アイヌ文化交流センターで各種事業を行った。

- (1) アイヌ文化体験講座【再掲】
- (2) アイヌ文化交流センターイベント【令和3年度は中止】(※詳細は推進施策2に掲載)
- (3) アイヌ民族古式舞踊(輪踊り)【令和3年度は中止】(※詳細は推進施策2に掲載)
- (4) 小中高校生団体体験プログラム【再掲】
- (5) 小中高校生団体出前体験プログラム【再掲】
- (6) wi-fi 設置(令和2年度)・運用
- (7) 展示物説明多言語化(令和2～3年度)



ア ポケトーク(音声翻訳機)6台の運用(対象言語50以上)

イ 説明プレートの更新(アイヌ語、日本語、英語、中国語(簡体)、韓国語)

ウ 展示ガイドアプリ(ポケット学芸員)の運用

- (8) アイヌ食文化の発信

レストコーナーに設置した2台のディスプレイにより、身近な「食」からアイヌ文化への興味を喚起するための動画を放映

#### アイヌ文化交流センターの利用状況

年度	開館日数	来館者数	展示室観覧者数
H29	293日	53,006人	18,891人
H30	294日	55,083人	26,663人
R1	270日	58,241人	28,494人
R2	256日	26,930人	10,952人
R3	201日	13,243人	9,339人

## 2 アイヌ文化交流センターの機能の充実

令和4年度の運営開始に向けて、アイヌ文化体験コーナーを設置した。(令和3年度は新型コロナウイルス感染予防のため、コーナーの準備(案内看板、物品等ハード面の準備)のみを実施。)

## 3 アイヌ文化交流センター中庭のリニューアル

身近な「食」からアイヌ文化への興味を喚起するため、アイヌ文化交流センター内のライトコート(中庭)を、アイヌ料理に用いる自然素材などの見学スペースとしてリニューアルするための展示計画を作成した。

### 推進施策2：アイヌ文化の体験・交流の機会創出

#### 1 アイヌ文化交流センターイベントの実施

アイヌミュージック、古式舞踊、切り絵・刺しゅう等製作体験、昔遊び等の実施を予定していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

年度	開催回数	参加者
H29	6回	1,212人
H30	6回	1,274人
R1	6回	1,464人
R2	中止	-
R3	中止	-



#### 2 アイヌ民族古式舞踊(輪踊り)の実施

アイヌ文化交流センターにおいて、来館者等によるアイヌ民族の古式舞踊(輪踊り)の体験を予定していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

年度	開催回数	参加者
H29	1回	171人
H30	1回	153人
R1	1回	103人
R2	中止	-
R3	中止	-



### **3 アシリチェプノミ保存伝承事業への補助（市民文化局文化部）**

豊平川河川敷（南7条大橋上流左岸）において行われる、アイヌ民族の伝統儀式であるアシリチェプノミ（新しい鮭を迎える儀式）の市民理解の輪を広げる取組とともに、その文化を保存・継承する取組を支援した。

開催日：令和3年9月12日（日）

参加者：50人（新型コロナウイルス感染症対策により無観客開催）

## **施策目標4：産業等の振興**

### **推進施策1：アイヌ文化のブランド化の推進**

#### **1 工芸品等の定期販売会の実施**

工芸品の常設販売店の設置に向けて、工芸品の供給体制の強化や人材育成・担い手の確保を目的として、工芸品の販売会を札幌駅前通地下歩行空間で3回開催した。

(1) 開催日：令和3年10月11日～17日（7日間）

令和3年12月13日～19日（7日間）

令和4年1月17日～23日（7日間）

(2) 購買者：延べ508人

#### **2 アイヌ文化のブランド化推進**

アイヌ工芸品作家と製造関連事業者などの協業により、現代の消費者ニーズを踏まえたアイヌ関連商品の試作品を開発するとともに、こうした取組の促進に向けた、協業モデルケースの紹介を行った。

(1) チーム数：4チーム

(2) 開発商品：7品目

### **推進施策2：アイヌ文化に関する観光プロモーションの推進**

#### **1 ウポポイを活用したアイヌ文化の発信**

アイヌ民族に関する理解の促進に向け、アイヌ文化交流センター及びウポポイを訪れる観光プロモーションを企画していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。

## 2 「シーニックバイウェイ北海道」との連携（南区市民部）

南区内の約 40 団体（連合町内会、商店街、大学、集客施設等）により構成され、南区の魅力アップとPRを行っている「札幌シーニックバイウェイ」の活動を支援した。

取組の一環として、アイヌ文化交流センターが掲載されている札幌シーニックバイウェイ作成のパンフレット「感動・寄り道 GUIDE」を南区内の公共施設等にて配布した。

## 3 東京オリンピックにおけるアイヌ文化とウポポイの情報発信（スポーツ局招致推進部）

2021 年 8 月に行われた東京オリンピックのマラソン・陸上競技で注目が集まる機会を活用し、アイヌ舞踊の映像をオリンピックの一部として、国内外に広く発信するため、さっぽろテレビ塔前の広場（札幌市中央区大通西 1 丁目）にて、アイヌ舞踊を披露した。

# 施策目標 5：生活関連施策の推進

## 推進施策 1：生活環境等の整備

### 1 住宅新築資金等の貸付

アイヌ民族の居住環境の整備・改善のため、住宅の新築・改修、宅地取得等の資金を準備した。

(1) 貸付実績：なし

### 2 アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置（市民文化局市民生活部・教育委員会学校教育部）

アイヌ生活相談員 2 名、教育相談員 1 名を配置し、各種相談に対応した。

(1) 生活相談員相談件数：1,543 件

（生活相談 625 件、教育相談 41 件、職業相談 52 件、その他相談 825 件）

(2) 教育相談員相談件数：429 件

### 3 アイヌ民族の児童・生徒への学習支援

夏休み・冬休み期間にアイヌ民族の児童・生徒に対し、学習支援を行った。

- (1) 開催日：夏季 令和3年7月28日～30日、8月4日～5日（5日間）  
          冬季 令和4年1月11日～15日（5日間）
- (2) 開催場所：札幌市共同利用館
- (3) 参加者：延べ33人